

エコアクション21環境経営レポート



MAINICHI SHOUKAI
株式会社 毎日商会

2023年4月～2024年3月
2024年7月1日発行 9月2日改訂

目次

1 組織の概要（事業の概要、許可の状況、施設の状況、処理工程）	1～5
2 対象範囲（認証・登録範囲、レポートの運用期間および発行日）	6
3 環境経営方針	7
4 実施体制	8
5 環境経営目標	9
6 環境経営計画	10
7 環境経営目標 に対する実績値と評価	11
7.2 次年度以降の環境経営目標	12
8 環境経営目標と計画の結果と評価、並びに今後（次年度）の目標・計画	13
9 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無	14
10 代表者による全体の評価と見直し・指示	15

【参考データ】 各種環境指数の年度推移（2020年度～2023年度）

1 組織の概要 ・ 事業の概要

事業者名	株式会社 毎日商会	
代表者名	代表取締役 西田勝志	
所在地	本社	
	〒444-0922 愛知県岡崎市八帖南町字琉球島6番地5	
設立年月日	1989(平成元)年 10月31日	
事業の規模	資本金	1,000万円
	売上高	60,678万円 (2023.04~2024.03)
事業年度	4月1日~3月31日	
従業員数	39名 (正社員36名 アルバイト3名)	
事業内容	一般廃棄物収集運搬業 産業廃棄物収集運搬業 産業廃棄物処分業 (中間処理)	
環境管理責任者	責任者 総務部 村越 ゆかり TEL (0564) 73-2211 FAX (0564) 73-2212	

受託した産業廃棄物の 収取運搬量・処分量	2023年4月~2024年3月		
	収集運搬量 (産業廃棄物)	25,331.6	トン
	収集運搬量 (一般廃棄物)	6,097.4	トン
	中間処理量 (産業廃棄物)	24,380.3	トン

1. 組織の概要 ・ 許可の状況①

産業廃棄物収集運搬業

許可登録番号		許可品目	許可年月日	有効期限
愛知県	02300038741	表1	R6.4.8	R13.4.7
岡崎市	10510038741	表1	R6.4.24	R13.4.7
岐阜県	02100038741	表1	R6.2.23	R13.2.22
三重県	02400038741	表1	R6.2.15	R13.1.31

産業廃棄物処分業

岡崎市	10520038741	表 1	R6.4.24	R13.4.7
-----	-------------	-----	---------	---------

一般廃棄物収集運搬業

岡崎市	10135	-	R5.2.20	R7.2.19
-----	-------	---	---------	---------

一般廃棄物処理業

幸田町	5 指令幸第1-1号 (ごみ) 一般廃棄物収集運搬業	-	R5.4.1	R7.3.31
-----	-------------------------------	---	--------	---------

1. 組織の概要 ・ 許可の状況②

表1 産業廃棄物許可品目・種類

○：産業廃棄物収集運搬 （積替え、保管を除く）	▲：産業廃棄物処分
●：産業廃棄物収集運搬 （積替え、保管を含む）	

自治体	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ	紙くず	木くず
愛知県	○	○	○	○	○	○	○	○
岡崎市	○	●	●			●	●	○
岐阜県		○				○	○	○
三重県		○	○	○	○	○	○	○
岡崎市		▲選別				▲減容固化 ▲選別 ▲破碎	▲選別	▲選別 ▲破碎
自治体	繊維くず	動物性残さ	ゴムくず	金属くず	ガラス・コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く)及び陶磁器くず		鋳さい	がれき類
愛知県	○	○	○	○		○	○	○
岡崎市	●	○	○	●		●	○	●
岐阜県	○			○		○		○
三重県	○	○	○	○		○		○
岡崎市	▲選別			▲選別		▲選別		▲選別

1. 組織の概要 ・ 施設等の状況

①運搬車両の種類と台数		2024年7月1日現在
【収運グループ・営業部・総務部】		
平ボディトラック2台	2 t ユニク車3台	4 t ユニク車 1 台
2 t コンテナ車 4 台	4 t コンテナ車4台	4 t 増コンテナ車4台
2 t 増パッカー車 2 台	4 t パッカー車 7 台	4 t 増パッカー車 5 台
バン 3 台	ヴィッツ 1 台	計36台
【八帖グループ】 構内車		
2 t コンテナ車 1 台	4 t コンテナ車 1 台	
フォークリフト 4 台 (5 t、3 t × 2、1.5 t)		ホイールローダー 3 台

②処理の能力		2024年7月1日現在
(1) 減容固化施設	廃プラスチック類 (自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く)	
	0.4t/日	(0.05t/時間)
(2) 選別施設	(飲用容器選別ライン)	
汚泥 (廃電池に限る。水銀含有ばいじん等を除く) 廃プラスチック類 (自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く)、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず (自動車等破砕物を除く) ガラスくず・コンクリートくず (工作物の新築改築又は除去によって生じたものを除く) 及び陶磁器くず (自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く)、がれき類 (石綿含有産業廃棄物を除く)。		
(上記品目は水銀使用産業廃棄物を除く)		59.953m ³ /日 (7,4942m ³ /時間)
(3) 選別施設	(混合廃棄物選別ライン)	
汚泥 (廃電池に限る。水銀含有ばいじんを除く) 廃プラスチック類 (自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く)、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず (自動車破砕物を除く) ガラスくず・コンクリートくず (工作物の新築改築又は除去によって生じたものを除く) 及び陶磁器くず (自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く)、がれき類 (石綿含有産業廃棄物を除く)。		
(上記品目は水銀使用産業廃棄物を除く)		104.16m ³ /日 (13.02m ³ /時間)
(4) 破砕施設		
廃プラスチック類 (自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く)		
	2.22t/日	(0.2775t/時間)
木くず		
	2.06t/日	(0.2575t/時間)

積み替え保管施設		2024年7月1日現在
所在地	愛知県岡崎市八帖南町琉球島 6 番5、6番7、11番	
面積	10,171.09 m ²	(保管面積 78.50 m ²)
保管上限	53.65 m ³	

1. 組織の概要 ・ 産業廃棄物の処理方法と処理工程

品目	株式会社毎日商会			2次中間処理業者			3次中間処理業者			埋立処分業者	
	処理方法	資源名	売却	処理方法	資源名	→	処理方法	資源名	→	品目	種類
廃プラスチック類	減容固化	樹脂原料 (発砲スチロール)	売却								
	選別	再生樹脂原料 (ペットボトル)									
	破砕	自動車プラスチック バンパー	→	焼却	燃料化						
	選別	ウレタン	→	選別	燃料化						
		廃ビニール	→	選別	固形燃料化						
			→	焼却		→		→	燃え殻	管理型埋立地	
		非感染性医療	→	焼却		→		→	燃え殻	管理型埋立地	
		フィルター	→	破砕		→		→	廃プラスチック類	安定型埋立地	
	選別	パレット	売却								
			→	破砕	燃料化						
		タイヤ	→	破砕	燃料化						
		軟質・段プラ ・PPバンド	→	破砕	燃料化						
		塗料付着	→	蒸留		→		→	燃え殻	管理型埋立地	
		塗料カップ	→	焼却		→		→	燃え殻	管理型埋立地	
樹脂ダンゴ		→	焼却	燃料化	→		→	燃え殻	管理型埋立地		
ガラスくず・ コンクリート くず・陶磁器 くず	びん	売却									
		→		→		→	ガラス・陶磁器くず	管理型埋立地			
	石膏ボード	→	選別		→	破砕	土壌固材化				
				→	破砕	建設資材化					
	ガラス・陶磁器くず	→		→		→	ガラス・陶磁器くず	安定型埋立地			
がれき類	選別	がれき類	→		→	破砕	路盤材				
			→		→		→	がれき類	安定型埋立地		
木くず	選別		→	破砕	燃料化						
繊維くず	選別		→	圧縮	再資源化						
紙くず	選別	製紙原料	売却								
金属くず	選別	金属原料	売却								
		アルミ	売却								
		金属くず	→	圧縮	再資源化						
廃乾電池	選別		→	焼却		→		→	燃え殻	管理型埋立地	
太陽光 パネル	選別		→	選別・破砕	再資源化						
混合物	選別	安定型混合廃棄物	→							安定型埋立地	
		管理型混合廃棄物	→							管理型埋立地	
	管理型混合廃棄物	→	圧縮		→						管理型埋立地
		→	破砕・圧縮		→						管理型埋立地
		→	破砕・選別		→						管理型埋立地
		→	破砕		→						管理型埋立地
	→	焼却		→						管理型埋立地	

2 対象範囲

認証登録範囲	全組織・全活動
対象事業所名	本社・八帖リサイクルセンター
活動内容	<ul style="list-style-type: none">・一般廃棄物収集運搬業（岡崎市、幸田町）・産業廃棄物収集運搬業（岡崎市、愛知県、岐阜県、三重県）・産業廃棄物処分業（岡崎市）
対象期間	2023年4月～2024年3月
レポート発行日	2024年7月1日

次期対象期間	2024年4月～2025年3月
レポート発行予定日	2025年6月 予定

3 環境経営方針

環境経営理念

わが社は、クリーン事業を通じて環境保全と持続可能な循環型社会の形成、維持に取り組めます。またこの環境経営方針を全従業員へ周知し、環境経営システムの継続的改善を進めます。

環境経営方針

1. 事業活動に適用される環境関連の法令・条例等を遵守します。
2. 産業廃棄物の選別により再資源化率を上げ、限りある資源の循環に取り組めます。
3. 電力使用量や化石燃料使用量の削減により二酸化炭素排出量の削減を目指します。
4. 各種設備・車両の管理充実を図り、公害などの環境汚染の防止に努めます。
5. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。

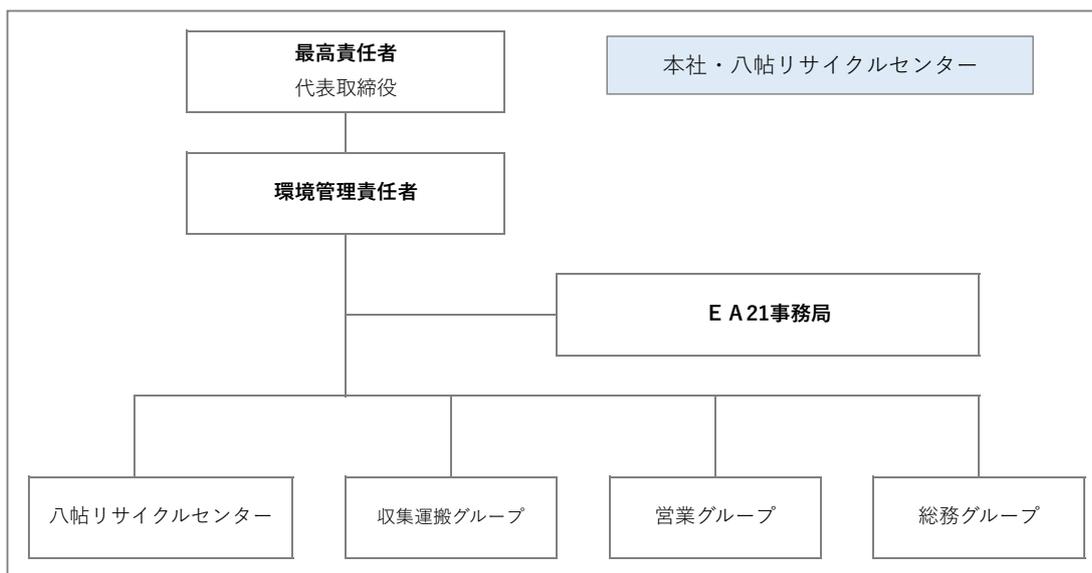
制定日 令和4年1月5日

株式会社毎日商会

代表取締役 西田 勝志

4. 実施体制及び役割・責任・権限表

全社の組織図



名称	責任・役割・権限
最高責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な資源（人材・設備・費用等）の準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び実施体制（役割・責任・権限）の構築、全従業員への周知 ・経営における課題とチャンスの明確化 ・環境経営目標・環境経営計画を承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境経営目標及び環境経営計画の作成 ・環境関連法規の取りまとめ表を作成し、最新情報を管理 ・環境関連法規の取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの受付と必要な対応及び結果の記録 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの作成、公開 ・文章類の作成・管理
E A 21事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループにおける環境経営方針の周知 ・各グループの従業員に対する教育訓練の実施 ・各グループに関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・各グループの問題点の発見、是正、予防措置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・自分の役割を理解し、自主的・積極的に環境活動へ参加

5 環境経営目標

作成日：2020年4月1日

2020年度を基準に2021年度から2023年度の目標は以下の通りとする。なお各年度は4月～3月。

取り組み項目	単位	基準年度 2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
削減率	%	—	-2%	-3%	-4%
二酸化炭素排出量の削減					
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	408,420	400,252	396,167	392,083
対産廃中間処理総量比・原単位	t-CO ₂ /t	0.038	—	—	—
電気使用量	kWh	94,505	92,615	91,670	90,725
ガソリン使用量	ℓ	10,918	10,700	10,590	10,481
軽油使用料	ℓ	129,668	127,075	125,778	124,481
灯油使用料	ℓ	1,314	1,288	1,275	1,261
廃棄物削減					
産業廃棄物 中間処理総量	t	10,878	実績値把握		
産業廃棄物 リサイクル率	%	87.4%	85%以上		
水使用量の削減					
水使用量	m ³	941	932	922	913
地域住民からの苦情ゼロ					
苦情件数	件	0	0	0	0
社会貢献					
処理場周辺清掃奉仕活動	年1回以上				

* 二酸化炭素総排出量の値には少量のLPG（CO₂比率0.5%以下）も含む

* 電力の排出係数は2019年度中央電力エネルギーの調整後係数 0.476 kgCO₂/kWhとした。

* 産業廃棄物のリサイクル率は（中間処理総量－埋め立て・焼却灰廃棄物量）／中間処理総量で求めた。

* 化学物質は使用していない。

6 環境経営計画

2024年4月～2025年3月

取組項目	取組部署	取組内容と計画
二酸化炭素排出量の削減		
①ガソリン・軽油の削減に向けた取組		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 運転コースを検討し効率のいい配車（運転）ルートをはがける ・ 収集運搬車両・営業車のアドリングストップとエコドライブの実践 ・ 車間距離にゆとりをもって、急加速・急ブレーキのない運転 ・ 車両の買い替えをする際に、低燃費や低排出ガスを考慮して購入する。 ・ 重機のアイドリングストップ、エコドライブを心がける 	会社全体 （主に収集運搬・営業） （主に八帖リサイクルセンター）	「ムダ、ムラ、ムリ」などを行っていないか普段の作業・活動を見直す。 過去の実績値などを確認し、省エネ意識を高める。
②灯油の削減に向けた取組		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 洗車時、気温に応じた水温を設定する ・ 暖房機器の不要な温め過ぎに注意する 	収集運搬 会社全体	「ムダ、ムラ、ムリ」などを行っていないか普段の作業・活動を見直す。 試行期間の実績や過去の実績値などを確認し、省エネ意識を高める。
③電気使用量の削減		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 不要な電気を消灯し、トイレは使用時のみ点灯する ・ 残業及び夜間照明は必要最低限にする ・ 消費電力の少ない電気製品へ移行する OA機器は不要時には電源を切る ・ 冷暖房温度の設定の最適化（冷房28℃、暖房22℃） 	会社全体	「ムダ、ムラ、ムリ」などを行っていないか普段の作業・活動を見直す。 過去の実績値などを確認し、省エネ意識を高める。
産業廃棄物の削減		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 産業廃棄物の選別作業を徹底する ・ 古紙などリサイクルできるものは、しっかりと分別する 	八帖 リサイクルセンター	作業現場の整理整頓を心がけ、産業廃棄物の分別がしやすい作業環境にするとともに、地道な分別作業を心がける
水使用量の削減		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 洗車時の水の使用量を必要最低限の量にする ・ 工場、事務所内では節水活動を行う 	収集運搬 会社全体	「ムダ、ムラ、ムリ」などを行っていないか普段の作業・活動を見直す。 試行期間の実績や過去の実績値などを確認し、省エネ意識を高める。
地域住民からの苦情ゼロ		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 騒音対策の実施 ・ 粉塵対策の実施 	八帖 リサイクルセンター	常に周辺状況の確認を行う
社会貢献		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 処理場周辺の清掃活動を実施 	会社全体・八帖 リサイクルセンター	地域貢献を常に意識し定期的な地域貢献活動に取り組む。

7 環境経営目標に対する実績と評価

運用期間は2023年4月～2024年3月（2023年度）とし、比較基準は2020年4月～3月（2020年度）とする

取り組み項目	単位	基準年度	目標値	実績値	基準比	評価
		2020年度	'2023年度	2023年度		
		2020年4月から 2021年3月	2023年4月から2024年3月			
削減率	%	—	-4%	-	-	-
二酸化炭素排出量の削減						
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	408,420	396,167	408,189	100%	△
対産廃中間処理総量比・原単位	t-CO ₂ /t	0.038	—	0.017	-	○
電気使用量	kWh	94,505	90,725	86,934	92%	○
ガソリン使用量	ℓ	10,918	10,481	11,686	107%	×
軽油使用量	ℓ	129,688	124,481	130,958	101%	△
灯油使用量	ℓ	1,314	1,261	661	50%	○
廃棄物削減						
産業廃棄物 中間処理総量	t	10,878	-	24,380	-	-
産業廃棄物 リサイクル率	%	87.4%	85%以上	93.3%	-	○
水使用量の削減						
水使用量	m ³	941	913	956	102%	△
地域住民からの苦情ゼロ						
苦情件数	件	0	0	0	-	○
社会貢献						
処理場周辺清掃奉仕活動	年回以上	1	1	1	-	○

△：基準比100～105%

* 二酸化炭素総排出量の値には少量のLPG（CO₂比率0.5%以下）も含む

* 電力の排出係数は2019年度中央電力エネルギーの調整後係数 0.476 kgCO₂/kWhとした。

* 産業廃棄物のリサイクル率は（中間処理総量一埋め立て・焼却廃棄物量）／中間処理総量から求めた。

* 化学物質は使用していない。

7.2 次期環境経営目標（2024年度～2026年度）

作成日：2024年7月1日

2023年度を基準に2024年度から2026年度の目標は以下の通りとする。なお各年度は4月～3月。

取り組み項目	単位	基準年度 2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
削減率	%	—	－1%	－2%	－3%
二酸化炭素排出量の削減					
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	408,189	404,107	400,025	395,943
対廃棄物関連合計比・原単位	kg-CO ₂ /t	7.3	7.2	7.2	7.1
電気使用量	kWh	86,934	86,065	85,195	84,326
ガソリン使用量	ℓ	11,686	11,569	11,452	11,335
軽油使用料	ℓ	130,958	129,648	128,338	127,029
灯油使用料	ℓ	661	655	648	642
廃棄物削減					
廃棄物収集運搬量 + 処理量（廃棄物関連合計）	t	55,809	実績値把握		
産業廃棄物 リサイクル率	%	93.3%	85%以上		
水使用量の削減					
水使用量	m ³	956	946	937	927
地域住民からの苦情ゼロ					
苦情件数	件	0	0	0	0
社会貢献					
処理場周辺清掃奉仕活動	年1回以上				

* 二酸化炭素総排出量の値には少量のLPG（CO₂比率1%以下）も含む

* 電力の排出係数は2019年度中央電力エネルギーの調整後係数 0.476 kgCO₂/kWhとした。

* 産業廃棄物のリサイクル率は（中間処理総量－埋め立て廃棄物量）／中間処理総量で求めた。

* 化学物質は使用していない。

8 環境経営目標と計画の結果と評価、並びに今後（次年度）の目標・計画

2023年4月～2024年3月

取組項目	取組部署	取組内容と計画	
二酸化炭素排出量の削減			
①ガソリン・軽油の削減に向けた取組		評価	結果コメントと今後の取組
<ul style="list-style-type: none"> ・ 運転コースを検討し効率のいい配車（運転）ルートを心がける ・ 収集運搬車両・営業車のアドリングストップ低減、エコドライブの実践 ・ 車間距離にゆとりをもって、急加速・急ブレーキのない運転 ・ 重機のアドリングストップ、エコドライブを心がける 	会社全体 （主に収集運搬・営業） （主に八帖リサイクルセンター）	○ 遠距離の現場は、まとめて収集できるように配車を計画している。ガソリン、軽油の使用量は増加したが、二酸化炭素排出量の対産廃処理総量比・原単位は、0.035（2020年度）、0.022（2022年度）、0.017（2023年度）と減少しているので、取り組みの効果があったといえる。今年度末、重機を小型化し、低燃費、低排出ガスのもの買い替えをした。次年度以降、原単位目標は分母を変更する。	
②灯油の削減に向けた取組		評価	結果コメントと今後の取組
<ul style="list-style-type: none"> ・ 洗車時、気温に応じた水温を設定する ・ 暖房機器の不要な温め過ぎに注意する 	収集運搬 会社全体	○ ○ 洗車機2台のうち1台が約10ヶ月間故障していたため、温水を利用した洗車ができなかった。そのため、灯油の使用量が約半分に減ったと思われる。また、その間洗車は常温の水で行っていた。引き続き省エネに努める。	
③電気使用量の削減		評価	結果コメントと今後の取組
<ul style="list-style-type: none"> ・ 不要な電気を消灯し、トイレは使用時のみ点灯する ・ 残業時及び夜間の照明は必要最低限にする ・ 消費電力の少ない電気製品へ移行する ・ OA機器は不要時には電源を切る ・ 冷暖房温度の設定の最適化（冷房28℃、暖房22℃） ・ エアコンのフィルター清掃 	会社全体	○ ○ 前年度は半年間、（電気を大量に使う）RPFを製造をしていたが、今年度はRPFを製造しなかったため、電気の使用量が大きく減った。引き続き節電に努める。 △ ○	
④産業廃棄物の削減			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 産業廃棄物の分別作業を徹底する 	八帖 リサイクルセンター	○	普段から廃棄物の選別には注力している。今後も取組を継続する。
⑤水使用量の削減			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 洗車時の水の使用量を必要最低限の量にする ・ 工場、事務所内では節水活動を行う ・ 節水プレートを掲示して節水を呼びかける 	収集運搬	△ ○ ○	取扱う廃棄物の量が増加したこと、洗車機が壊れて加温せずに洗車していた期間があったことが、洗車時間が増えた（水の使用量が増加した）原因と考えている。節水は継続。
地域住民からの苦情ゼロ			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 騒音対策の実施 ・ 粉塵対策の実施 	八帖 リサイクルセンター	○ ○	苦情はなかった。 今後とも取り組みを継続する
社会貢献			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 処理場周辺の清掃活動を実施 	会社全体・八帖 リサイクルセンター	○	計画通り実施できた。今後も取組を継続する。（川と海のクリーン大作戦）

次年度の目標値は7.2に記す。

9 環境関連法規等の遵守状況及び違反、訴訟の有無

環境関連法規等要求事項一覧

対象	NO.	関連法令・条例	要求事項	実施状況	遵守状況	違反・訴訟
大気汚染	1	大気汚染防止法	一般粉じん発生施設の届け出		届出済	なし
	2	自動車NoxPM法	業務用車両	排ガス規制適合車	○	なし
水質汚濁	3	水質汚濁防止法	排水の適正管理	油水分離槽の設置	○	なし
	4	浄化槽法	浄化槽	法定検査・保守点検・清掃	○	なし
騒音	5	騒音規制法	施設の届出（→18 県条例）		○	なし
振動	6	振動規制法	施設の届出（→18 県条例）		○	なし
悪臭	7	悪臭防止法	各市町村からの連絡		○	なし
化学物質	8	消防法	危険物の貯蔵、取り扱い基準	指定可燃物の取扱い届け出	届出済	なし
廃棄物リサイクル	9	廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）	産業廃棄物（収集）	車両への表示、許可証写し・マニフェスト携帯	○	なし
	10		産業廃棄物（収集・処分）	契約書の締結	○	なし
	11			マニフェストの適正管理	○	なし
	12			産業廃棄物管理票交付等状況報告書を県知事等に6月30日までに提出	○	なし
	13	特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）	家電4品目（家庭用）	自社廃棄時、廃棄物の受け入れ時の適正な処理	○	なし
環境保全	14	環境基本法	自然環境の適正な保全、環境への負荷の低減		○	なし
	15	循環型社会形成推進基本法	循環資源を適正に利用、適正に処分		○	なし
	16	フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	業務用エアコン	漏れ点検（簡易、定期点検）記録を保管、引取時、回収済証明確認	○	なし
条例	17	廃棄物の適正な処理の促進に関する条例（愛知県）	廃棄物の適正処理、処理委託先の実地確認		○	なし
	18	県民の生活環境の保全等に関する条例（愛知県）	騒音発生施設、振動発生施設、粉じん発生施設設置の届出		届出済	なし
	19	空き缶等ゴミ散乱の防止に関する条例（愛知県）	清潔の保持		○	なし
	20	岡崎市生活環境保全条例	生活環境の保全（地球温暖化対策、アイドリングストップ）		○	なし
	21	岡崎市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例	排出事業者の適正処理		○	なし

違反・訴訟などの有無

遵守状況の確認の結果、当社に適用される環境関連法規への違反はありませんでした。

また、過去3年間、関係当局より違反の指摘や提訴はありませんでした

2024年7月1日 代表取締役 西田 勝志

10 代表者による全体の評価と見直し・指示

作成日：2024年7月1日

取組項目別の評価	
1 環境目標とその達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 未達成項目 <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 (ガソリン使用量、軽油使用量、水使用量) 設定に問題 <input type="radio"/> 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 (産業廃棄物処理量が大幅に増加した場合は、二酸化炭素排出量・原単位で比較する)
2 環境活動計画の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 取組に問題 <input type="radio"/> 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 次年度の取組 継続
3 環境関連法規の見直し・遵守状況	<ul style="list-style-type: none"> 見直し <input type="radio"/> 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 遵守状況 良好
代表者による総括コメント	2024年7月1日
<p>総論</p> <p>環境経営方針、実施体制については、これまでのものを継続します。環境経営計画については、取組項目について追加をしました。環境経営目標は、廃棄物取扱量の増加を考慮した適切な目標を設定し、継続的な改善を図ります。取り扱う廃棄物量は毎年増加しています。2024年度は、太陽光発電設備の設置を計画しております。二酸化炭素排出量削減にむけて、目の前にある課題を一つ一つ解決していきたいと思えます。</p>	
評価結果	
1 環境経営システム	<input checked="" type="radio"/> 有効に機能している ・ <input type="radio"/> 機能していない
2 環境への取組	<input checked="" type="radio"/> 適切 ・ <input type="radio"/> 一部適切ではない
変更判断・指示	
1 環境方針の変更	<input type="radio"/> 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無
2 環境目標の変更	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無
3 活動計画の変更	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無
4 環境経営実施体制の変更	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無
その他	
<p>来年度からは運用による省エネに加え、機器更新により省エネを目指していきます。今後とも環境に配慮した経営を継続していきます。</p>	

【参考データ】

		項目	単位	2020年	2021年	2022年	2023年	
事業 活動 規模		産業廃棄物収集運搬量	t	14,078	13,840	19,692	25,332	増加
		一般廃棄物収集運搬量	t	6,886	6,807	6,697	6,097	
		産業廃棄物中間処理量	t	10,878	13,590	18,679	24,380	増加
		廃棄物合計（収集運搬＋中間処理量）	t	31,842	34,237	45,068	55,809	増加
ア ウ ト プ ット		二酸化炭素総排出量	kg-CO2	408,420	415,999	412,067	408,189	
		電気使用量	kWh	94,505	101,704	94,325	86,934	
		軽油使用量	L	129,668	131,457	131,488	130,958	
原 単 位		二酸化炭素総排出量/廃棄物関連合計	kg-CO2/t	12.8	12.2	9.1	7.3	
		二酸化炭素総排出量/売上高	kg-CO2/万円	8.14	7.08	6.84	6.73	
		売上高	万円	50,184	58,745	60,223	60,678	